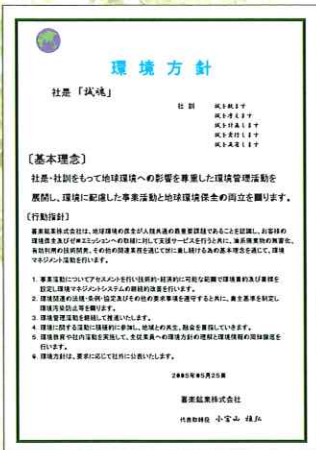


喜楽鋳業とは こんな会社です

環境保全を
経営課題に掲げる会社です

ISO14001の環境方針



社 是

「誠魂」

社 訓

誠を観ます
誠を考えます
誠を計画します
誠を実行します
誠を反省します

基本理念

社是・社訓をもって地球環境への影響を尊重した環境管理活動を展開し、環境に配慮した事業活動と地球環境保全の両立を図ります。

ISO14001認証取得状況



安心と信頼の証明
ISO14001を
取得しています。

認証機関：国際規格認証機構

取得年月	対象事業所	取得年月	対象事業所
2001年 5月	本社石部工場(滋賀県) 石部第二工場(滋賀県) 竜王工場(滋賀県)	2005年 3月	北陸営業所(福井県) 富山エネルギー工場 長野喜楽鋳業(株) 関西営業所(大阪府) 和歌山エネルギー工場
2002年 4月	大牟田工場(福岡県) 八代営業所(熊本県)	2007年12月	四国エネルギー工場高瀬(香川県) 愛媛営業所 徳島エネルギー工場
2003年 6月	水保エネルギー工場(熊本県) 川内営業所(鹿児島県) 宮崎営業所	2009年 4月	美濃エネルギー工場(岐阜県)
2004年10月	周東エネルギー工場(山口県) 広島営業所	2009年 6月	広島総合工場 東広島営業所 山口エネルギー工場十文字
2005年 1月	北九州工場(福岡県) 福岡営業所	2010年 7月	大分営業所
2005年 2月	四日市営業所(三重県) 名古屋営業所 尾鷲営業所(三重県) 舞鶴喜楽鋳業(株)(京都府)	2011年 7月	兵庫エネルギー工場

事業活動の目的は

循環型社会の必要性を重視し、法に遵じて「油系廃棄物を無害化すること」を通じて「社会貢献を果たすこと(世に益すること)」を目的として掲げております。

私達の使命は

お客様に安心して「事業活動」に専念していただくため、喜楽鋳業は「排出事業者」の皆様になり代わり、「法に遵じて」その処理責任をすべて代行いたします。

事業の許可取得状況です

(2012年10月現在)

国内最大の規模で許可を受け、数多くの実績が大きな信頼を得ています。

収集運搬許可地域	中間処分許可工場
関東・中部・近畿・北陸・中国・九州 38府県・52政令市	<p>〈焼却工場〉 本社・竜王・北九州・広島総合工場</p> <p>〈再生工場〉 本社・北陸・福岡・北九州・大牟田・水保・周東・和歌山・香川・徳島・美濃・富山・山口・舞鶴・長野・兵庫</p>

「再資源化貢献企業表彰事業」 受賞企業です

〔財団法人クリーンジャパンセンター(経済産業省外郭団体)実施〕

回収した廃油を規格に基づいた最新設備の再生プロセスをもって燃料油(LS重油)に再生しており、その実績は財団法人クリーンジャパンセンター(経済産業省外郭団体)実施による「再資源化貢献企業表彰事業」において受賞するなど高く評価されています。

24時間緊急対応をしています

眠っている間にも広がり続け、容赦なく自然を破壊していく油公害から地域と地球環境を守るため、24時間緊急対応をしています。緊急対応の実績としては、日本海で発生したロシア船「ナホトカ号」からの油流出事故に喜楽グループ全社で出動・対応しました。

ゼロエミッションへの取組み

「地球上の油系産業廃棄物の無害化とその有効利用により世に益すること」

これが地域と地球環境に対する
喜楽鉱業の使命と考えています。



広島総合工場 全景

私たち喜楽鉱業は、自然を破壊する油公害から地域と地球環境を守るため、創業以来の経験と実績を元に、油系産業廃棄物の無害化・減量化とその有効利用を究極まで追求しています。広島総合工場では、油系産業廃棄物を限りなくゼロに近づけるため、現代技術の粋を集めた13施設によって受け入れた廃棄物に対するリサイクル率を**99.8%**まで実現いたしました。

また、地球温暖化が叫ばれる今日、CO₂削減対策の主流は各人、各企業の省エネによる排出量の抑制でしたが、喜楽鉱業では“排出してしまったCO₂を吸収する”という新たな地球環境負荷の低減を目指し、工場から出た温熱を利用したハウスでの環境木(CO₂の吸収率の高い植物)の栽培、植樹による独自の「CO₂吸収事業」を展開しています。

1 温熱利用 (CO₂吸収事業)



温熱利用ハウス

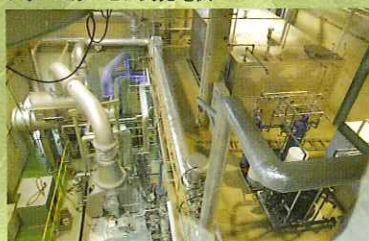
焼却工場から出た余熱は、工場に隣接した温熱利用ハウス(※1)の熱源や、コンクリート二次製品工場の製品乾燥の熱源に利用されます。

※1 温熱利用ハウスでは、CO₂の吸収率の高いアカシア、ユーカリ、ポプラなどの苗木を栽培し、それらを植え続けることによりCO₂の吸収率を高めることを目的とした「CO₂吸収事業」を進めています。その後、大木へと成長した木は製紙原料(チップ)として加工します。

2 熱源利用 (自家発電)

効率的に焼却しやすい状態に処理された油系廃棄物は焼却炉で燃やされ、そこで発生した廃熱は、ボイラーにより発生させた蒸気でスチームタービン式発電機を廻し発電します。その電力は自家使用に役立てます。(発電量900kW)

スチームタービン式発電機



3 溶融スラグ利用

焼却工場で出た焼却灰をさらに溶融し、急冷破砕処理することにより、ガラス系砂状物ができます。これらを砂や砂利などと混ぜてコンクリート二次製品工場での目的に応じた製品(建材など)に加工します。その際、製品の乾燥には焼却工場から出た余熱を利用します。

※なお、焼却工場から排出される排ガスは、汚染防止装置により「大気汚染防止法」の基準値を下回っています。



コンクリート二次製品工場

4 雨水有効利用



広大な敷地に降る雨水は100%利用するために油分離装置、濾水機を通し、2基の雨水タンクに貯蔵します。貯蔵された雨水は、利用目的に応じた加工を加え、焼却炉、炉内温度調節用冷却水、溶融炉スラグ破砕冷却水に使用します。

雨水利用施設



喜楽鉱業株式会社

<http://www.kiraku-k.com>

〒520-3114 滋賀県湖南市石部口二丁目7番33号

TEL.0748(77)4689(代)

FAX.0748(77)2757

連絡先